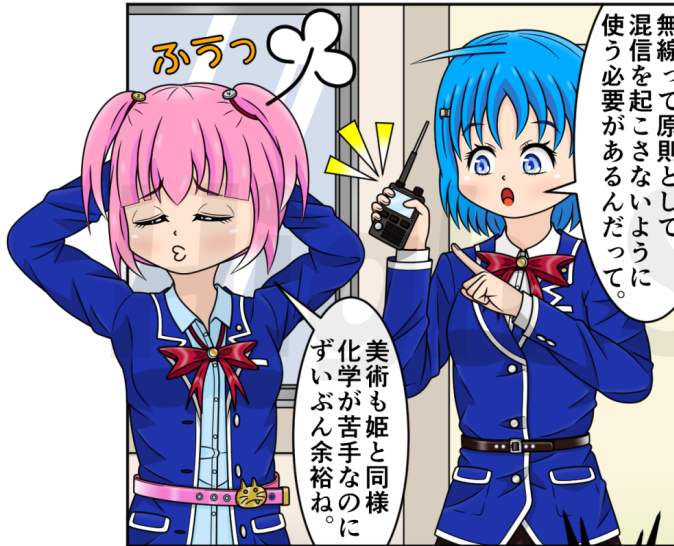




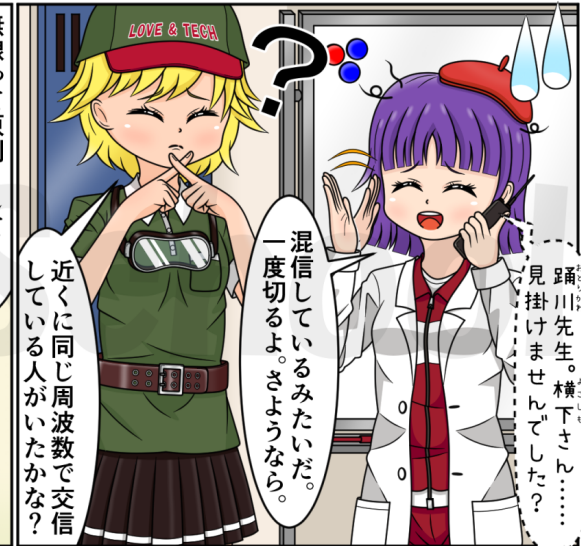
「都工環に借りた無線機で練習だ。」  
 知納子丸。こちらは美術号。  
 美術号。こちらは知納子丸。どうぞ。  
 美術号。こちらは知納子丸。どうぞ。



「第三級海上特殊無線技士」も取得して準備万端さ★  
 試験が近いんだから学校の勉強もしろよ。  
 拙の2級小型船舶操縦免許で行ける所まで行ってみよう。  
 ~21資格目~ 第三級海上特殊無線技士



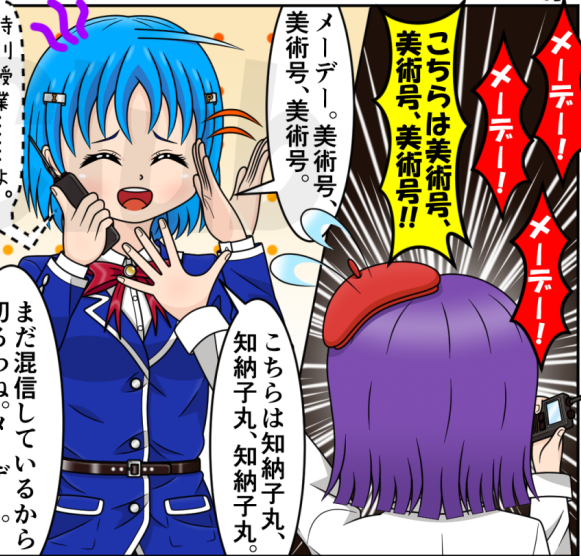
「ふうっ」  
 無線って原則として混信を起さないように使う必要があるんだって。  
 美術も姫と同様に化学が苦手なのにずいぶん余裕ね。



「混信しているみたいだ。一度切るよ。さようなら。」  
 近く同じ周波数で交信している人がいたかな？  
 頭川先生。横下さん... 見掛けませんでした？



「私も1級小型船舶操縦免許があるから海上無線は詳しいの。」  
 ちやんとNC旗も揚げて偉いわね♥  
 本船は撃沈されそうです!!  
 たとえ混信していても遭難通信はできるんだよ! 即時の救助を要請します!  
 特別授業... よ。



「こちらら美術号、美術号、美術号!!」  
 メーデー! メーデー! メーデー!  
 メーデー! メーデー! メーデー!  
 まだ混信しているから切るわね。メーデー。  
 こちらは知納子丸、知納子丸、知納子丸。  
 メーデー。美術号、美術号、美術号。

©2024 Shohama High School IP Club / Nakagawa Kiyomune  
 このお話はフィクションです。実在の人物・団体・出版界などとは一切関係ありません。  
 ご覧いただくのに支障がないレベルの透かしが入っています。どうぞご了承ください。